

タンク

評価の内容

申請資料に基づき、次の事項を確認している。

1. 評価対象設備機材

(1) 評価の対象

評価の対象としたタンクは、標準仕様書の当該事項に規定する次の機材である。

- ① FRP 製パネルタンク
- ② 鋼板製パネルタンク（評価対象除外）
- ③ 密閉形隔膜式膨張タンク（空調用・給湯用）
- ④ ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形）
- ⑤ ステンレス鋼板製パネルタンク（ボルト組立形）

(2) 評価の範囲

パネルタンク共通

- (イ) タンクの形式（形番）は、製品シリーズを表しており、多種多様な機種が含まれているため、納入機器ごとに設計図書との照合・確認が必要である。
- (ロ) FRP 製パネルタンクは、単板形パネルタンク及び複合板形パネルタンクを評価の対象としている。
また、補強方式は、外部補強を主体とした方式について確認している。
- (ハ) ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形）の補強方式は、内部補強を主体とした方式について確認している。また、「日本ステンレスタンク工業会」の「ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形）現地組立基準書」による TIG 溶接組立てについて確認している。また、酸洗い排水処理についても確認している。なお、内部補強については、「日本ステンレスタンク工業会」ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形）耐震構造基準の適合性について、別途確認する必要がある。
- (ニ) ステンレス鋼板製パネルタンク（ボルト組立形）の補強方式は、外部補強及び内部補強組み合わせを主体とした方式について確認している。
- (ホ) タンクは、代表機種として、タンク容量 5 m³、12 m³、30 m³について詳細な提出資料をもとに、基本的な品質性能を満足していることを確認している。この範囲を超える容量の機種についても、製造業者の提出資料を確認しているが、設計図書との照合・確認が必要である。
- (ヘ) FRP 製パネルタンク及びステンレス鋼板製パネルタンクの「中仕切板」についても、その強度等を確認している。
- (ト) 耐震仕様の確認範囲は次表のとおりである。
なお、下記の設計用水平震度及び設計用垂直震度は、設計図書の特記事項による。

設計用水平震度	設計用垂直震度
1.0	0.5
1.5	0.75
2.0	1.0

- (チ) 屋外に設置されるタンクについては、内ふたが設けられていることを確認する必要がある。

③ 密閉形隔膜式膨張タンク

- (イ) 密閉形隔膜式膨張タンクの形式（形番）は、製品シリーズを表しており、多種多様な機種が含まれているため、納入機器ごとに設計図書の仕様との照合・確認の必要がある。
- (ロ) 最高使用温度 100℃未満の空調用及び給湯用密閉形隔膜式膨張タンクを評価の対象としている。
- (ハ) 隔膜（ダイアフラム・プラダー）の材質及び最高使用圧力を確認している。

2. 品質・性能

(1) 材質等

主要な資材について、規定された材料が素材メーカーから製造所へ納入されていることを確認している。

(2) 性能

機材の性能について、実施要領に規定する試験機関または評価委員会が認める製造所で規定の試験を行い、その結果を確認している。

(3) 構造

標準仕様書に適合していることを確認している。

(4) 品質・管理

製造所での品質管理体制及び現場施工体制が整備されていることを確認している。

3. 評価名簿詳細事項

申請機材の形式等の詳細は、評価名簿詳細事項として掲載している。
